統合小学校の校名、校歌、校旗及び校章の検討方法の事務局案

１　第６回設置準備委員会（R８.２.25開催）意見について

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>「校名」の意見</th><th>「校歌」の意見</th><th>「校旗及び校章」の意見</th></tr>
<tr><td rowspan="4">内容検討するに当たっての考え方</td><td rowspan="2">留意すべきこと</td><td colspan="3">○ 校名等を決めるプロセスを考えることが大事。例えば、中浦小学校の校歌は諸橋轍次博士が作詞をした。校旗や校章は下田地域にゆかりがあるデザイナーに作成依頼するなど。（「いわれ」が残るようにとする趣旨か。）
○ 校名等を制定しても５年程度でなくなるようでは寂しい。
○ 校名は「下田小学校」でもよいが、(校歌、校章等は)義務教育学校となったときに変わることはよくない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">○ 中学校校歌のメロディは小学児童が歌うには難しい。
○ 中学校校舎に小学校が統合したときに、その校歌を使い続けることができることが必要
○ 校歌は、R10.４の段階で中学校も含めて新しく制定する。中学校の校歌が変わることになるが、小学生の統合のストレスを思うと中学生には許容してもらう。</td><td>○ 義務教育学校等となったとしても使えるもの</td></tr>
<tr><td colspan="2">○ 校歌や校章については、いつまで使うのかを決める必要</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">検討方法</td><td colspan="3">○ 校名等のいずれかをＰＴＡや子どもたちに決めていただくことで、思い出や誇りに繋がる。
○ 各学校で保護者や子どもたちの意見を聴く。保護者等を巻き込む。
○ 小学校５校は廃校となるので、５校合同の卒業制作という形でプロジェクトを立ち上げる。
○ 決め方（プロセス）は、テレビ番組の企画でタレントを呼んで創るということもよい。</td></tr>
<tr><td>○ アンケートを実施するなど、多くの方に参加してもらう。</td><td colspan="2">○ 子どもたちが好きなミュージシャン等を選び依頼。
○ 子どもたちが喜ぶような人に依頼。
○ なるべく著名な人に作詞・作曲を依頼。
○ 旧鹿峠中学校では生徒会が作詞をした。</td></tr>
<tr><td colspan="2">特定の具体案</td><td>○ 下田村は教育の村の歴史があるため「下田小学校」がよい。
○ 将来義務教育学校となる場合、おそらく校名は「しただの郷学園」となるのではないか。</td><td>○ 下田中学校の校歌がよい。
○ R10.４の段階で先々中学校の校歌が変わるとした場合、中学生にストレスを与える。中学校校歌のメロディを残し歌詞を子どもや保護者が考える。</td><td>○ 下田中学校校章は旧鹿峠・長沢・森町の３中学校統合を象徴し三角形を表している。５小学校統合を象徴し五角形とする。
○ 校旗は、下田地域であるだけに旧下田村旗とする。</td></tr>
</table>

2　校名、校歌、校旗及び校章の検討の考え方（案）

１　新しい学校への子どもたちの思い入れが高まるよう、**子どもたち及び保護者の意見・考えを可能な限り反映**させる。

〈意見収集・集約の考え方〉

① アンケート等の実施に当たっては、**児童・保護者全員を対象として**意見を募る。
② 最終的に、**複数の案の候補に集約**していく。
③ この際、多くの考えがいずれにあるのかを適切に見極める。ただし、単に「意見数が多い」ということだけが必ずしも適切さを表しているとは限らないことにも留意する。

２　いずれの項目も**最終選考は、準備委員会で選考し決定する**こととする。
（明確な「決定」の必要）

〈選考の際に持つべき視点〉

①**「謂れ(いわれ)」を大切に**する。
※ いわれ：物事について一般に言われていること。その物事の意味、もととなる根拠、由来、理由。
② **下田地域を端的に表す。「アイデンティティ」を大切**にする。
③ 先々**中学校と統合した場合への「継続性」**に留意する。

３　集約した意見の詳細、それに対して準備委員会で行った議論など、決定までの**経過は学校及び地域へ逐次お知らせ**する。

〈経過のお知らせの意義〉

○ 自身が意見を出している以上、自身の提案・意見がどうなっていくかは関心事。学校統合に対し、建設的な関心を喚起することで、より一層統合校への子どもたちや保護者の愛着感を高めていくことが期待できる。

3　校名、校歌、校旗及び校章の検討方法案

○　準備委員会意見は、総じて、主に**「子どもたち・保護者の意見を聴く」**、**「(アイデンティティとなるものであるため)下田のゆかり、由来、いわれを大切にする」**などの趣旨に収れんされるものと考えた。
○　しかし他方で、校歌の作成や校章のデザインには、**専門的な知見や高い技術・能力**が必要

校　名

1　児童、保護者を対象として、**「校名」アンケート（第１回）**を実施する。

2　集計結果を公表する。(全件)

3　準備委員会において、**最終５案程度に絞り込む**。

4　児童、保護者を対象として、最終案の中でいずれがよいか、**「校名」アンケート（第２回）**を実施する。

5　アンケート結果を踏まえつつ、準備委員会で審議し、いずれかの案に決定する。

校　歌

1　児童、保護者を対象として、**「誰に作詞、作曲して欲しいか」及び「歌詞に入れて欲しい言葉」のアンケート**を実施する。

2　歌詞に入れて欲しい言葉を準備委員会において確認する。不適当等で除くべき提案がないか精査する。

3　歌詞に入れて欲しい言葉を、**６作詞委託へ提供**（２の該当を除き、全件）
※作詞に当たっては、アンケート結果を参考に制作するよう依頼

4　作詞家、作曲家それぞれについて、アンケート結果を踏まえ、事務局が三条市出身等の候補者などを事務局案として追加する。

5　４を踏まえ、準備委員会で審議し決定する。

6　**作詞、作曲委託**
〔委託料の措置要〕

校旗及び校章

1　児童、保護者を対象として、**「下田地域を象徴するシンボリックな事柄・色合い」アンケート**を実施する。

2　準備委員会において確認する。不適当等で除くべき提案がないか精査する。

3　募集提案は、**５デザイン委託へ提供**（２の該当を除き、全件）

4　準備委員会において、デザイナー候補を選定する（三条市出身等で10候補程度から選定（１候補））。

5　**デザイン委託**
複数案（３案程度）の作成を依頼
〔委託料の措置 要〕

6　児童、保護者を対象として、複数案の中でいずれがよいか、**「校旗・校章選定」アンケート**を実施する。

7　アンケート結果を踏まえつつ、準備委員会で審議し決定する。

※アンケートは全て下田地域の児童、保護者を対象とする

４　今後の予定

	令和８年度							
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月
校名	準備委員会で審議、検討方法の決定			アンケートの実施	５案に絞る	アンケートの実施	校名決定	
校歌				アンケートの実施	作詞家・作曲家の選定			
校旗・校章				アンケートの実施	デザイン案の選定		デザイナーの選定	

	令和８年度				令和９年度			
	１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	7月～
校名								
校歌	・補正予算審議 ・作詞家、作曲家、デザイナーとの打合せ		作詞・作曲制作期間：４か月				校歌完成	データなどの成果物の完成 校歌の練習開始
校旗・校章			デザイン３案の制作期間：２か月		３案のどれが良いかのアンケートの実施		校旗・校章のデザイン決定	

【参考】　将来中学校と統合する際の校名、校歌、校旗及び校章の考え方

将来想定	考え方	校　名	校　歌	校旗及び校章
小中一貫教育 一体型となる場合	基本的に小中学校がそれぞれで存立するため、**影響なし**	○ 中学校とは別の校名。 ○ 基本的に、**今回決定する校名でそのまま存続**する。 ・小学校：今回検討する小学校名 ・中学校：現在の下田中学校 ・(学園)：(しただの郷学園)	○ 中学校とは別の校歌。 ○ 基本的に、**今回決定する校名でそのまま存続**する。 ・小学校：今回検討する小学校の校歌 ・中学校：現在の下田中学校の校歌	○ 中学校とは別の校旗・校章。 ○ 基本的に、**今回決定する校旗・校章でそのまま存続**する。 ・小学校：今回検討する小学校の校旗・校章 ・中学校：現在の下田中学校の校旗・校章
義務教育学校となる場合	基本的に小学校と中学校が１校となるため、名称等は**調整が必要**	○ 小中学校の区分を持たないため、**基本的に新しい学校名を制定する。**	○ 次のいずれでもよい。 ・　今回検討する小学校の校歌を学園の校歌とする。 ・　現下田中学校校歌を学園の校歌とする。 ・　小中学校の両校歌を残し、校歌を複数持つことも可。	○ 次のいずれでもよい。 ・　今回決定する校旗・校章を使用する。 ・　新しく作成する。 ※　中学校の校章は「中」と記載されているため、活用しない。